

職場や職業にかかわる社会体験学習の手順

班・グループや個人で取り組む体験学

調べ学習や体験学習の形態には、学
 行うもの、班や個人で行うものなどが
 では、実際に取り組まれている例も多
 が直接体験できる班・グループや個人
 しています。

1 事前準備と指導

①活動の目標・ねらいを決める

	調べ学習	体験学習
小学校	しごと調べ	お店番体験
中学校	職場訪問・職業調べ	職場体験

②活動の実施時期を決める

- 学校行事の予定を加味し、余裕を持ってあたる日程を考える。
- 事業所の都合も大切。一般的に月初めや月末、年末年始、年度末、
- 地元商店街の協力を得るときには地域の行事や定休日なども調べ
 ＊業種による休業日もある。美容室一火曜日など

3ヶ月前

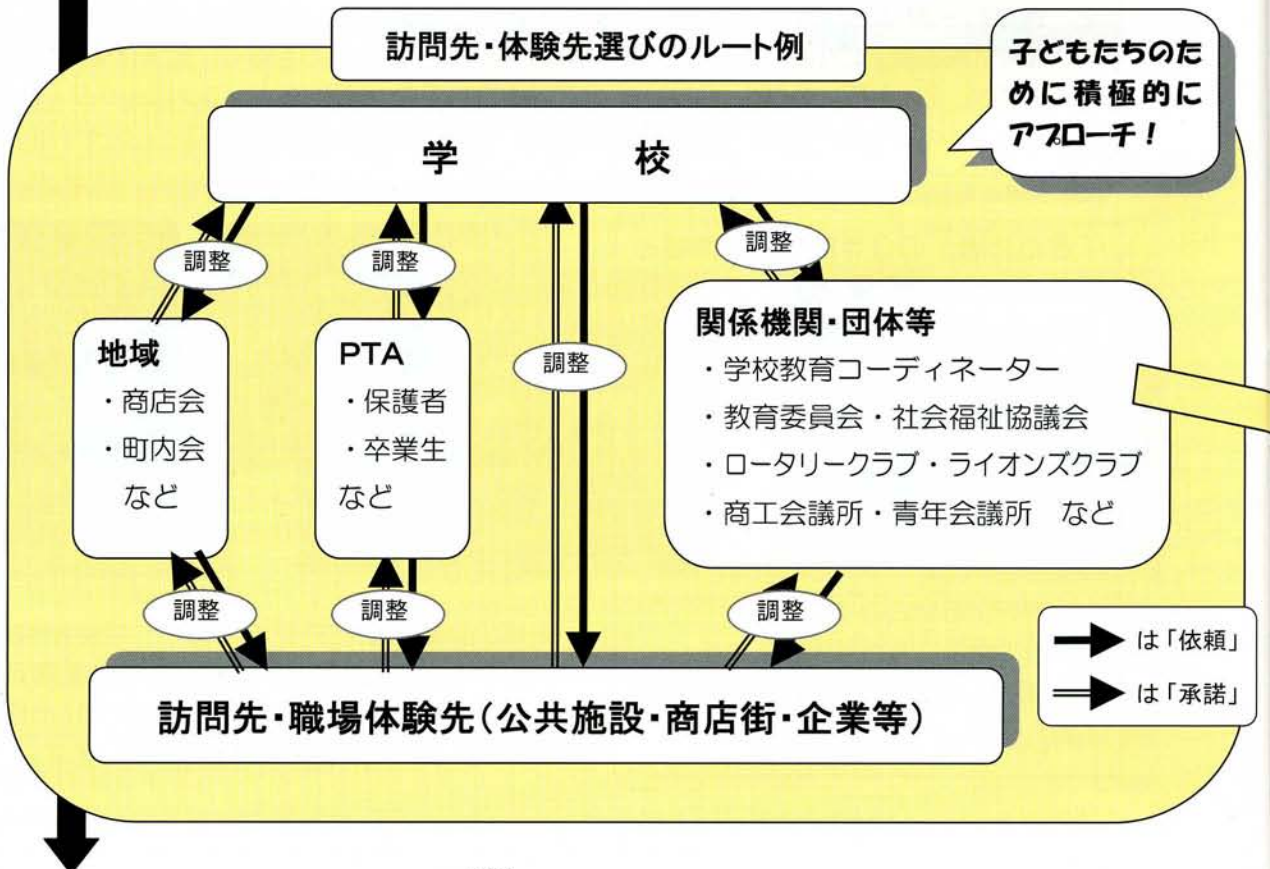
③児童生徒の希望を聞く（希望調査①）

- ・福祉関係施設（養護老人ホーム・障害者施設など）
- ・公的施設（図書館・水族館・動物園・区役所・市役所など）
- ・乳幼児施設（保育園・幼稚園など）

④訪問先・体験先を選び、依頼する

- 児童生徒が希望した業種をもとにお店や事業所を一軒一軒あたる。
- 学校が直接あたるだけでなく、PTA、地域の人々、関係機関等に
 動の趣旨を話し、受入を依頼する。

訪問先・体験先選びのルート例



習のための手順
年や学級の単位でありますが、ここのく、児童生徒全員の形態をイメージ

社会体験学習の手順をチェック
社会体験学習の内容や手順には、各学校や地域の実情に応じて、様々なバリエーションが考えられます。このページでは、児童生徒の興味関心に基づき、社会体験学習を実施する際の一つのパターンをフロー図で示し、項目ごとにチェックできるように留意事項をまとめています。

参考文例
体験学習では、受入れのお願いや連絡、事後のお礼などで、地域の方や商店・企業などに文書を出す機会があります。そのような時の参考に、文末に「依頼状」や「お礼状」などの文例を載せています。

【お店番体験学習のねらい】(小学校の例)
○地域の商店街には、いろいろなお店があり、たくさんの人々が働いている事を知る。
○お店で働く体験を通して、働くことの大切さを知る。

【職場体験学習のねらい】(中学校の例)
○仕事の内容を知り、働くことの大切さを知る。
○たくさんの方の協力により仕事が成り立っていることを知る。
○商店・事業所の仕事が地域・住民にどのように役立っているかを知る。

年度始めは避ける。

訪問先・体験先の都合を考えて!

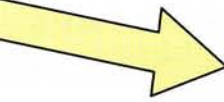
- ・特殊技能(美容院・理容店・病院など)
 - ・ものづくり(製造業・工場・伝統工芸など)
- ※各種専門学校では、将来の進路を選ぶためのより具体的な体験も提供してくれる。(美容学院、製菓学院、アニメ学院など)

協力をお願いし、社会体験活

将来の夢や生き方を考えるための「しごと調べ学習」「職場体験学習」
本物の体験をすることは、児童生徒にとって貴重な体験です。地域の商店や企業、公共施設など様々な場所で行われる「しごと調べ学習」や「職場体験学習」を通して職業への夢や希望を見出した児童生徒がいます。
そこで、様々な社会体験活動の中から、「職場や職業にかかわる体験活動」を取り上げ、地域の教育力を活用した社会体験学習の基本的な手順についてまとめました。

各機関・団体等に、相談してみましょう。

- ・福祉関係施設なら→社会福祉協議会、ボランティアセンターなど
 - ・公的施設なら→教育委員会、区役所・市役所など
 - ・乳幼児施設なら→地域との各種連絡会など
 - ・特殊技能・ものづくりなら→商工会議所、商店会、卒業生など
- ※相談への対応は、各機関・団体等によって違うので、地域の実情に応じて選ぶ。



東京都教育委員会では、学校と地域の協働をすすめるためのしくみづくりのために、「地域教育サポートネット」事業を展開しています。これは、地域の多様な社会資源と学校とのコーディネート活動を地域住民のみなさんに担っていただくというものです。
杉並区教育委員会が、希望する小中学校に配置した「学校教育コーディネーター」や小平市立第六小学校で発足した「コーディネーター部会」などは、学校とサポーターとの連絡調整や地域人材を活用した企画提案などの役割を担っています。
また、他の区市でも、PTAが中心となった学校支援ボランティアや学校支援団体がコーディネート機能を担っている例もあります。

